

- ・コラム「ゴミ考」
- ・お知らせ(宿泊研修報告 新聞の終活特集で活動紹介 おおたか静流チャリティライブ)
- ・協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

174号/2016

Since 1984

「ゴミ考」

杉浦 良

徳島に来る前、大阪でリサイクル現場の最前線を体験させていただきました。今でこそリサイクルという言葉は当たり前ですが、当時はゴミ回収、屑拾い、廃品回収などという言葉が一般的でした。

ゴミの日に出された廃品の中から、壊れた扇風機やガス湯沸かし器、電気釜、洗濯機、冷蔵庫などを選び出し、解体して、銅、アルミ、鉄、モーターやコンプレッサーなどを取り出しする人や、それを買い取る人、そしてそれをまとめて回収し選別して、銅やアルミやステンレス、モーターやコンプレッサーなどそれぞれの専門業者に運ぶ人、各専門業者はアルミサッシや銅線の製造メーカーなどに収める訳です。こうして新たに製品として再使用される、一連の流れがありました。

廃バッテリーもケースと電極、希硫酸に分別され、ケース、電極は溶かして新バッテリーの材料として活用される訳です。鉄屑も分別して鉄の材料に、古新聞も新聞紙の材料に、



宿泊研修旅行。上勝町の日比ヶ谷ごみステーションにて。ゼロウェイストに向けた取り組みを渡部さんが丁寧に説明して下さいました。

古段ボールも段ボールの材料として活用されるのと一緒にです。

ただ解体・選別など書くと、そこで働く方々の労苦が伝わりません。泥や油や埃にまみれ、ビールや清涼飲料水の腐敗した匂いに煩わされ、廃バッテリーから漏れた希硫酸はジーンズや綿ズボンをボロボロにします。本当に厳しい環境ですが、この領域の仕事がなければ世の中はうまく回りません。

製品を作り販売するという日の当たる部分はよく見えますが、それが捨てられゴミとして排出され、もう一度資源として再生される部分はなかなか見えません。この循環サークルは、人間の体の動脈と静脈の関係に似ています。心臓から新鮮な血液を送り出す動脈は生き生きしていますが、黒ずんだ血が流れる静脈は精彩に欠けます。しかし、絶対に切り離すことはできません。

物の循環サークルを回すところに、様々なハンディーを持ったメンバー達が関わることは、それほど珍しいことではありません。むしろ一般社会からはじかれた方々の居場所としても機能していることを当時知りました。そんな体験から見える世の中は、今までとは少し違った見え方をしま

す。壊れて捨てられたガス湯沸かし器や使えなくなったバッテリーが、ゴミ(廃棄物)ではなく有価資源(お金)に見えるから不思議です。

18世紀には100万都市を誇った江戸が、人間の糞尿を畑の肥料としてフル活用したクリーン都市だった話は有名です。糞尿を買い取り汲み取る人、それを運んで畑の肥料にする人の流れがあつてこそ、きれいな川が保たれた訳です。人の糞尿は当時有価資源だった訳です。

11月14日にメンバーたちと研修に訪れた、徳島県上勝町の日比ヶ谷ごみステーションやくるくるショップ、くるくる工房でのごみゼロ・ウェイスト(ごみを出さない)活動は、ごみを出す人が34種類に分類することで有価資源化したり、再使用化するものです。

「混ぜればゴミ、分ければ資源、ゴミは処分料金がかかるが、資源はお金になる。どちらが社会にも住民にも良いでしょう」そんな説明に、昔の大阪での光景が蘇りました。光と影、表と裏、外面と内面、動脈と静脈、両方繋がって全体を成す。

「人も物も活かされる街づくり」・・・解り難いコンセプトですが奥は深い、そう改めて思います。

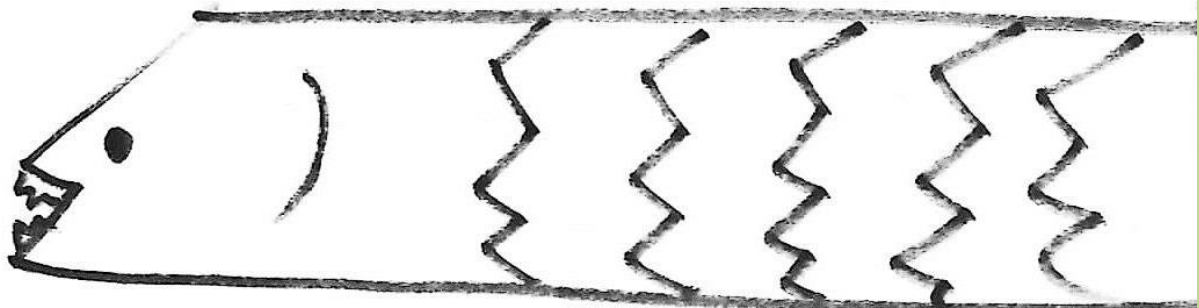


イラスト 岡田君

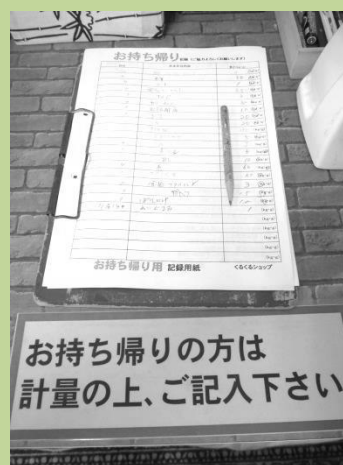
# お知らせ

## 宿泊研修 in 徳島県南

平成 28 年 11 月 14 日～15 日、公益財団法人徳島県福祉基金の「地域活動支援センター等利用者の社会参加促進事業」助成金に自己資金を合わせ、様々なハンディを持ったメンバー、スタッフ、ボランティアが参加して、太陽と緑の会リサイクル作業所、太陽と緑の会月の宮作業所合同の宿泊研修旅行を行いました。

初日は上勝町を訪れました。Uターン、Iターンした若者たちが起業したカフェ「ポールスター」で地元野菜を使ったランチを頂いた後、渡部厚子さんに案内をお願いし、ゼロウェイストに向けた取り組みを見学させて頂きました。上勝町は 109.63 km<sup>2</sup>(東京の大田区と世田谷区を合わせたくらい、又は大阪市の半分くらい)の面積に 1629 人の方が住み、葉っぱビジネスの「いろいろ」でも知られています。

ごみ分別の拠点である「日比ヶ谷ごみステーション」では、町民の声を反映させ、より分かりやすくするために 34 分別から 50 以上の分別に細分化していました。また併設の「くるくるショップ」では、町民が持ち込んだ「まだ使える品物」を陳列し町内外の希望者が自由に持ち帰ることができる仕組みで、7 割の品物がリユースされているとのことでした。隣接する「くるくる工房」では鯉のぼりをリメイクした服やバッグなど、アイデアあふれる手づくりの品々が展示販売されていました。



翌日は那賀町唯一の障害者作業所である「あすなろ作業所」にお邪魔しました。作業のお話しをお聞きした後、県内産の木材を活用して生まれ変わった建物で、地元の食材を取り入れたランチとケーキセットを頂きました。

大塚製薬株式会社徳島ワジキ工場では、カロリーメイト(ブロック)の製造ラインを見学させて頂きました。工場開始翌年の平成2年より敷地内で無料の野外コンサート「エキサイティングサマーinワジキ」を毎年夏に開催しています。

病院の濃厚流動食の技術をベースに宇宙食の条件もヒントにして開発されたカロリーメイト。製造ラインは止まっていたのですが、50mにも及ぶオープンなど、製造の一端を垣間見ることができました。

意外と知らない地元の取り組みや食材に触れることができた今回の研修。これまで参加したくても不安で踏み出せなかったメンバーさんが「バスの移動時間が短いから」と参加できたことも収穫でした。

## 県職員NPO研修

10月17日、18日の2日間にわたり、徳島県職員8名の皆様が、太陽と緑の会にて研修に参加して下さいました。

今年度新規採用された職員の方が主として参加される「NPO法人短期研修」も今年で6回目となります。

メンバーが作業内容を説明し、分からない所は教え、困っているときは手助けもする。支援される側とされてきた人たちが、助けたり助けられたりする相互的な関係を築くことで、その人なりに立って行くことにつながっていく。

こうした日常のリアリティはペーパーだけでは見えにくい面もあり、2日間で8時間、様々なハンディを持ったメンバーと実際に作業をして頂くことで、その一端を感じて頂けるのは本当に有難いことです。

## 全国研修大会

岡山ロイヤルホテルで、9月3日4日、全国手をつなぐ育成会連合会・全国育成会事業所協議会全国研修大会・岡山県大会が行われました。地域生活支援、就労支援、次世代の育成、各テーマで熱い論議が交わされました。第2分科会(就労支援)では、岩手県の(社福)さわら園園長石川明博さんと太陽と緑の会の杉浦が、提案者として出席しました。北は北海道、南は沖縄の参加者が、熱心に耳を傾けておられました。

## メンバー交流会

10月29日 那賀町あすなろ作業所で第14回ふれあいフェスティバルが開催されました。県内の作業所・事業所に通う、様々なハンディを持ったメンバー達が一堂に集う大変ユニークなフェスティバルです。

那賀町の坂口町長来賓挨拶の後、4作業所・事業所に通うメンバー5名の成人を祝うセレモニーが行われました。

なかなか地域での成人式とは縁遠くなりがちなメンバー達にとって、他のメンバーや関係者が祝ってくれる貴重なものです。お母さんからのメッセージや仲間達からのお祝いの言葉と一緒に、坂口町長から記念品を手渡されたことは一生の記念となるでしょう。

太陽と緑の会からも杉浦とメンバー3名が参加しました。

## 来所見学

10月23日、国立環境研究所(資源循環・廃棄物研究センター)の小島英子さんが、社会貢献型リユース事業についての調査研究のため来所されました。

青年海外協力隊やJICAにて現場での経験を積んでから、研究職の道を歩まれるようになったという異色のキャリアをお持ちの方です。

学生時代にサークル活動で国立西多賀病院に毎週通い、筋ジストロフィーの方との関わりがあったというのも何かのご縁でしょう。当会創立者の近藤文雄はかつて同病院の病院長の職にあり、そこで兄弟3人が筋ジスの当事者というご家族との出会いがあり「今」につながっています。

11月5日午後、広島県庄原市から施設長の松本さん含めスタッフ6名の皆様が見学に来られました。前述の全国研修大会での杉浦の話が聞かれ、わざわざ3時間半かけて訪れて下さいました。

今日十八日は良いお天気、小春日和です。日頃は、太陽と緑の会にお盡力なさって敬服しております。先日新聞やテレビで服など新品だけと古くなっている捨てるにはおしい服などは引取って下さるとの事知りませんでした。男のスボン、女物のスカートがたくやん新品同様なの箱にいっぱいありました。どうか引き取って誰れかに活用していただけますか。無償です。

## 新聞の終活特集で紹介

徳島新聞の10月26日付朝刊に太陽と緑の会のリユース活動が紹介されました。

「とくしま終活事情」という連載の3回目で、高齢者の方への取材の中で、「不要となった衣料品を太陽と緑の会に取りに来てもらった」というお話があったことから、当会に取材に来られました。

ご自宅にお伺いしての引き取りをご希望の方が太陽と緑の会にお電話されると、最初にハンディを持ったメンバーが電話に出て、お名前とお電話番号をお伺いします。その日の夜、もしくは翌日に回収担当スタッフがお電話し、お伺いするご住所やお品物、日時のご相談をさせていただきます。

当日は、メンバーとスタッフがトラックに乗ってご自宅までお伺いし、お品物を頂きます。2階から品物を下ろしたり、奥の倉庫から運んだり、メンバーとスタッフで行います。

様々なハンディを持ったメンバーが、微力ではありますが「終活」のお役に立てるといっても、太陽と緑の会ならではかもしれません。

## 太陽と緑の会様

お役に立てればよいと思います  
どうかよろしくお願ひします

90才の女性の方から、品物のお引き取りのご依頼をお葉書で頂きました。

お電話してご自宅までお伺いし、メッセージカードが添えられたお品物を頂きました。

なお衣料品はお洗濯だけしておいて頂ければ、新品でなくともお引き取りしておりますので、ぜひご利用下さい。

## 第7回おおたか静流 チャリティーライブ

東日本大震災チャリティー 第7回おおたか静流チャリティーライブ in 般若院が11月9日に開催されました。赤ちゃんからお年寄りまで120人ほどの方々が、徳島市寺町般若院の本堂にお越し頂きました。

インターナショナルギターリスト Keiju さんは7回目の共演で、ギターと笛を奏でてくれました。今回初めての Asu さんは、しっとりほっころのキーボードでおおたか静流さんの歌を、まあるくしてくれました。3人の新しいコラボが、般若院本堂で展開されました。

過去6回キーボードとパーカッションを務めた慧奏(えそう)さんはタイで演奏ツアー中とのことで、残念ながら日程が合いませんでした。

今回は1回目から6回目までのチャリティーコンサート義援金総計123万9857円の報告書を、皆さんにお配りしました。

チャリティー義援金として13万2200円、おおたか静流さん提供CD売上3万1340円、総計16万3540円を、宮城県ありのまま舎に東日本大震災義援金として、送金しました。関係者の皆様、そして聞きに来て下さった皆様のお蔭で、7回目を迎えることが出来ました。有難うございました。



## 来所見学

11月17日 午前10時40分から12時まで、地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所にて、「徳島市障害者支援施設見学会」が行われました。3年前、一昨年に続いて3回目の受入で、応募された13名の市民の皆様と3名の市職員の方が来られました。

11月26日午後、香川県高松市内5ヶ所の事業所・作業所8名の皆様が見学に来られました。「ここを見ようと思ったら、半日はかかる・・・また来るね」と帰途につかれました。

## 定休日及び正月休み

12月13日(火)14日(水)21日(水)  
12月28日(水・年末大掃除)

### 冬期休業

12月29日(木)～1月4日(水)  
1月9日(月・祝日)10日(火)  
1月11日(水)18日(水)  
1月24日(火)25日(水)

年内の営業は  
12月27日(火)まで

新年の活動は  
1月5日(木)から

とさせていただきます。  
なお冬期休業中の品物のお持ち込みは、防犯上の理由によりご遠慮下さい。  
よろしくお願い致します。

# 当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2016年10月1日～2016年11月30日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

## ご寄付を下された皆様

森田、尾上、般若院募金箱、板東、京寛、梅本、森井、西谷、森井  
(郵便振替口座) 西澤、中村、内原

## 品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○渡辺、藪原、先田、藤川、武知、原田、高岡、島谷、岡田、田中、押栗、福井、宮本、工藤、南條、かとう、齋藤、桜井、阿部、藤井、池添、久米、渡辺、藪原、先田、藤川、原田、福井、宮本、加藤、松本、大畑、西川、竹田、日本バプテスト連盟徳島キリスト教会、中央子供女性相談センター、パソQ、正城、植木、林、山根、小川、佐藤、米田、下込、大西、六車、鎌倉、宮田、キタノ、川島、今井、木下、矢野、麻植、自立訓練施設せせらぎ、廣田、香西、平山、坂東、正城、栄ずし、ロンドン屋、チケット徳島、小倉、竹田、四宮、岡久、富永、中村、為実、原田、豊田、森田、吉田、大木、郡、山ノ井、植松、増井、田口、伊丹、岸本、新居、松本、高原、福井、森、只津、中野、佐藤、鎌倉、三笠、岡本、丸山、山本、渡辺、辺見、味戸、高井、西槌、鴻野、泰地、阿部、岸、岡山、黒田、大柳、板東、福井、吉岡、牛越、すぎの子保育園、雲財、多田、堀内、赤坂、小泉、Dコム、前田、熊本、井上、野本、木村、吉井、真鍋、築師寺、田村、森兼、ピンク美容院、富永、圓藤、西野、横山、湯浅、宇治製菓、森本、亀谷、三輪、六車、石光、梶浦、篠原、鎌田、佐川、萩原、梅本、米本、楠本、田辺、長野、福井、戎、山下、鈴木、西木戸、三宅、竹中、北野、林、阿部、竹村、植田、川崎、吉岡、佐々木、篠原、片岡、久保、増田、早淵、志摩、多田、藤永、角、八田、平川、端野、川西、米田、守屋、わかかさ幼稚園、山橋、岩佐、夕二、片山、久米川歯科、藤田、中川、島田、谷口、八巻、近藤整形外科、山本、流、大塚、鎌田、村澤、大和、中尾、インマニエル教会、小田、長原、高橋、秋田、松本、庄野、マタニティタキ、河野、高瀬、中澤、梅枝、須原、岡野、渋谷、加藤、渡辺、上田、七條、大北、板東、榊、藤本、山谷、廣田、大櫛○小松島市○山野、近藤○鳴門市○林、横山、山本、岩井、西谷、久龍、都、高島、郡、大浦、引田、梯○藍住町○二宮、紀本、日下部、岩野、安芸、近藤、阿部、斉村、和泉、森、明松、新開、上山、正木、大宅○吉野川市○石原、武田、檜、佐伯、ヘアサロンふゆみ○阿波市○板東○板野町○晃昇、元木、賀山、鈴木○石井町○笠井、山口、内村、久保、三木、木内、矢田○阿南市○吉岡、中島、村田○松茂町○谷崎、松平、川道、寺田○佐那河内村○水原○上板町○原田

## 品物を持って来て下さった皆様 (郵送含む)

○徳島市○小山、湯浅、多田、杉浦、須原、上野、小澤、田村、立石、蔵本、富永、中内、西野、武内、森野、永松、谷井、ほっとハウス、尾形、篠野、笠井、四方、北岡、岩崎、笹田、中川、富尾、村上、下山、折口、寺西、麻植、片山、生駒、林、吉崎、森、藤岡、北島、津田、五島、瀧、高岡、黒田、鎌田、楠本、勝瀬、マスハラ、勝間、上藤、中西、中島、松岡、フクイ、鈴木、佃、脇谷、中井、田中、福本、井上、中村、瀧本、正瑞、亀井、大久保、朝日、内田、伊賀、氏橋、上川、久次米、木村、篠山、緒方、弘田、小林、西原、谷川、岡山、藤本、松浦、松内、後藤田、西條、中原、大畑、森口、牧野、酒井、堀、河野、安藤、井川、伊藤、三木、山橋、泰地、来井、藤原、西山、藤本、角田、丸尾、笠井、森本、太田、杉本、永井、篠原、片山、宮本、庄野、久米、福原、小川、前田、天理教名東大教会、佐中、井元、塩崎、鈴木、高尾、山田、木村、吉岡、水野、大黒、有島、坂本、長田、佐々木、沖津、新山、武田、西本、ゲストハウス オガワ、竹原、遠藤、中平、吉元、桑原、佐藤、大田黒、菅井、森岡、樋口、小倉、山手、津地、新森、丸岡、中園、徳島県更生保護女性連盟、河村、榎本、近藤、岡田、鳥谷、百々、板東、齋藤、枝澤、平田、オオグロ、川野、菱川、村上、山手、岩見、西藤、宮井、松枝、香川、西沢、高瀬、一宮、大和、金和、志摩、小島、青木、谷口、阿部、山本、富山、日下、後藤、小田、大林、木下、高橋、森井、加藤、寺島、徳永、古川、井形、北井、平山、細井、南本、小濱、粟飯原、美馬、団、上田、長尾、大笠、鈴江、元木、高永、菊本、大西、山下、川野、松本、桑原、ササダ、荒川、中窪、豊田、米田、漆原、平岡、藤井、貝谷、矢野、田村、長野、勝井、植松、中西、岡山、坂本、生野、兼子、月岡、武市、若林、久保、岩崎、大坂、浅尾、西林、島、本田、湯浅、高田、濱井、吉村、五濱、鎌倉、天満、竹田、戎井、梁、川人、福田、人生たすけあい家、岩橋、瀧、若林、西、榊本、谷、岡山、小濱、井原、田中、牧野、富林、大住、三原、住友、河原、柳生、板東、里口、森東、松田、竹田、前川、玉井、伊弉、櫻井、大畠、平橋、井澤、工藤、香川、山岩、落合、栗山、乾、長野、井原、宮井、長尾、大谷、富永、吉野、上藤、伊藤、勝井、柏岡、大内、犬伏、竹内、松下、スギタ、脇谷、上山、岸本、三田、高木、藤本、知野、谷川、久次米、鈴木、細川、新開、原、仁志、西谷、川上、マツモト、井上、野本、吉井、真鍋、半田、安芸、清水、上村、中井、板東、橋本、竹田、井原、岩崎、大塚、三金、松本、木村、加藤、平川、後藤、

小間坂、門脇、小倉、大西、村上、東條、久保、篠原、泉、女性グループすいーぷ、ゴトウ、河野、西岡、平岡、関口、坂本、吉田、中垣、魚住、奥津、西原、内田、カサハラ、小島、中川、宮井、鈴栄、松田、大西、小林、小野、榎本、岡野、岩井、藤本、島本、高井、野ノ瀬、中平、森井、尾方、長野、千葉、栗林、佐藤、吉岡、大川、井内、斉藤、岩本、大橋、上田、益田、明松、榊、岩本、本田、岡、鈴木、岡山、玉木、山下、後藤、坂東、高里、井原、太田、川尻、松本、笠井、内田、桂、辻、第一病院、山田、山口、四方、石井、新井、中野、横田、桑井○板野町○賀満田、箕輪、宮本、望月、白田、梶原、岩下、加茂○美馬市○小川、高見、樋口、竹本○藍住町○大西、二宮、山本、佐野、奥村、友川、井上、宮本、ヤマモト、中川、佐野、川口、西川、上田、友川、安芸、片岡、蔭山、石田、岡村、石川、松永、板東、篠原、上崎、山田、有島、友滝、大下、飯田、井出、内輪、四宮、山五味○吉野川市○西條、藤原、後藤田、石田、笠井、稲井、岡田、川野、佐々木、藤原、島田、小原、フジワラ、川端、佐々木、大塚、阿部、松浦、矢部、花待○石井町○武田、佐野、板東、青木、井上、三木、山西、阿部、近藤、廣田、平野、上田、森野、堀井、山口、佐藤、こんどう、一宮、河野、藤井、蒔田、廣田、フジモト、佐々木、本庄、加藤、戸田、藤田、清重、久保、大林、吉岡、岡田、藤本、前田、山本、天羽、小田、宮本○神山町○古屋、榎本、カワノ、久保、中原、高田、山本、河野、定岡○鳴門市○上田、山本、疋田、高松、浜、浦川、DAUFD、田中、近藤、田淵、青山、久武○上板町○稲井、森本、切原、多田、時廣、快樂、長浜、フロスト、河野○阿波市○横山、有井、坂東、西岡、枝澤、梶本、八張、原田、坂東、中西○阿南市○志賀、亀山、川端、細川、原、玉田、武市、山崎、友成、吉本、成松、山本、柿本○小松島市○桑子、福島、徳政、中野、浜口、中野、藤川、鍋島○北島町○脇、萩原、池形、辰巳、矢部、立山、永森、金文、堀、北島町社会福祉協議会、長田○松茂町○坂下、古田○那賀川町○上田○海陽町○広瀬、堀内○佐那河内村○尾上、青木、丸井○三好市○尾本○つるぎ町○戸田○勝浦町○宮浦○美波町○郡○埼玉県○本田○東京都○小島、小山、飯田○静岡県○永峰、杉本○兵庫県○高岡、スグリ○岡山県○谷○千葉県○石塚○神奈川県○高坂、宮本○その他○林

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の皆様からご協力を頂いております。

またカレー、ポテトサラダをメンバーたちの昼食に、と持って来て下さった河野様、みかんを差し入れて下さった多田様、橋本様、お野菜を差し入れて下さった吉田様、二階様、阿部様、鹿肉を差し入れて下さった柴田様、その他の皆様にもこの場を借りてお礼申し上げます。

頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

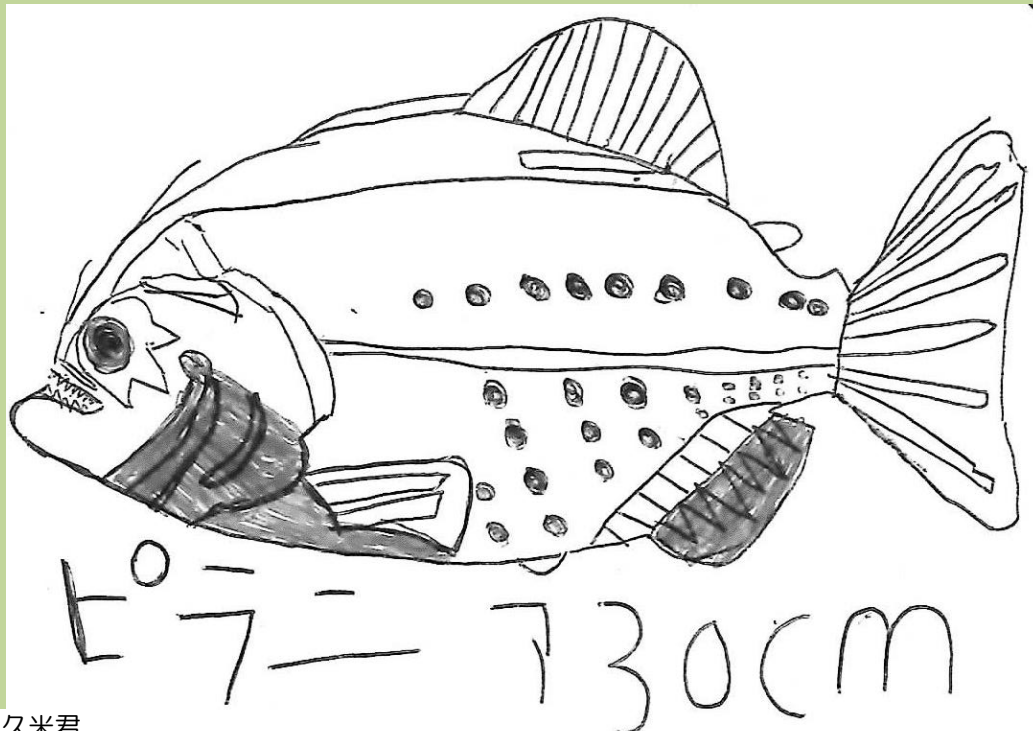


イラスト 久米君



## 編集後記～「元回収担当のつづき」

今から10年以上も前のこと。メンバーのAさん、Bさんと3人で、ある一戸建てのお宅に、トラックに乗って品物のお引き取りにお伺いした時のことです。

Aさんが機関誌を持って、ピンポンと呼び鈴を押すと、ドアが開き、中からご依頼のお電話を下された奥様が出て来られました。

「太陽と緑の会です。回収に来ました。太陽と緑の会で発行している機関誌です。読んで下さい。」そう言って、Aさんが機関誌を渡す。

朝から情動が高まってパニックを起こし、泣きながら出発するトラックに乗りこんだBさんも、涙目を拭きながらAさんの後をついて行く。親子ほど年の離れたAさんが「大丈夫かな」と言いたげにBさんの顔をのぞきこむと、「何しよん」とBさんが少し背筋を伸ばす。

まず最初は学校の教科書、参考書、プリントが段ボール10箱分、そして学習机。

「息子が2年前に大阪の方で就職して。電話で聞いたら、もういない、と言うので」と奥様。

「大阪と言えば、大阪城が有名ですな。あれは豊臣秀吉が…」

いつもは言葉がなかなか届かないAさんが、珍しく話に入って来る。

続いて、長年使いこまれた座卓、座椅子、座布団、鏡台、テレビ台など。

「膝が悪くなったから、新しくテーブルと椅子を買ったの。正座するのが辛くなって。テレビは前のが壊れて大きい物に買い替えたときに台も一緒に買ったから」

次は電気ストーブと掃除機。

「エアコンを入れたので、いらなくなったの。まだ使えるのよ。掃除機も15年くらい前に買ったもので、ちゃんと使えるんだけど、重くて2階に持って上げられなくなって…」



衣類10枚100円セール。最年長のAさん(66才)と最年少のBさん(20才)が担当。準備、会計から後片付けまで、ハンディを持ったメンバーだけで行うタイムセールです。1枚でも多くの衣料品がもう一度使って頂けることを願って…。

さらに、段ボール箱に梱包された食器類や台所雑貨、ごみ袋に入った衣料品、掛け布団、敷布団と、奥様の案内で各部屋を回り品物を運ぶ。

「新聞もいけるのかしら」「ええ」

Aさんが応えている。

「こっちの重たい方は僕が持つから、Bさんはこっちを持って行って」とBさんにはいつも優しいAさん。3人で運んでトラックに積み込んだ。

帰り際、「おかげさまで片付いて助かったわ。これはちょっとはお金になると思うから、活動の足しにして」とおっしゃって、木箱に収まった信楽焼の花器を持って来られる。

「ありがとうございました。またよろしくお願いします」と3人で礼をして（Bさんは頭をちょこんとだけ下げて）トラックに乗り込みました。

リサイクルショップさんであれば、市場価値の高い品物だけを買って、他の品物はお断りされるかもしれません。その方が商売としては効率的だからです。

しかし、その商売の常識を分かった上で、あえて、無償でお引取り、ひとつでも多くの品物をリユースにつなげていくスタイルを続けてきました。（文責：小山）

今年も残すところあとわずかとなりました。障がい者福祉の領域にも営利企業の参入が進んでいます。制度福祉をビジネスとして活用（悪用）する障がい者版「貧困ビジネス」の広がりを見ると、「予算を増やすだけで中身が良くなる、とは限らない」という現実を改めて思います。

営利企業だから駄目で、社会福祉法人や医療法人だからよい、という単純な問題でもありません。良心的に取り組んでいる事業所を正当に評価することの困難さが、割に合わないことを排除していく誘因となるのかもしれませんが。

「同じ就労継続支援事業を行っていて、同程度の公的資金をもらい、同じ土俵に乗っているのにどこが違うのか」という問いに対して「ここが違う」と明確に打ち出せるものがないと、いかに良心的な取り組みを実践していても同じ範疇でくくられてしまい、いつしか呑み込まれてしまう危険性も否定できません。

「太陽と緑の会はなぜ就労継続支援事業の制度を利用しないの？ 多額の公的資金によって運営が安定し、職員の待遇も改善できるのに」そのようなご質問を幾度となく頂きました。

全運営費の8割強をリユース品の売上などで捻出しなければならない太陽と緑の会の「イバラの福祉」を思う中で、「ふたつよいこと、さてないものよ」と河合隼雄氏（臨床心理学者）の言葉が浮かんできました。

なお本誌をもちまして、新年のごあいさつに代えさせていただきます。

新年もよろしくお願い致します。

先日 お店へ 行きました。  
外国の方が、何人も 来ていました。  
うちの家で使っている 陶器類は、  
太陽と緑の会さんで 買ったものが多  
いです。昭和の 感じのが好きです。  
コーヒーカップも たくさん 買いました。

寒さに向かい お体にお気をつけて下さい。

草々

## NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く、豊かであることを願っております。

## 発行：NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1

TEL・FAX 088-642-1054

（地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所）

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

協力者名簿作成 岡田

ゆうメール押印・タックシール添付 堀

製本・発送作業 宇津 岡田 福住 大木

年会費：正会員 1万円（総会議決権・事業決算報告）

準会員 1,000円（機関誌発送）

郵便振替口座：01620-8-44703

加入者名：特定非営利活動法人太陽と緑の会